
「特色ある大学教育支援プログラム」

(学士課程・教育方法の工夫改善を主とする取組) に
本学教育学部のプログラムが採択されました。

びわ湖から学ぶ環境マインド

- 調査艇を利用した湖上体験学習 -

「特色ある大学教育支援
プログラム」とは？

「特色ある大学教育支援プログラム」は、大学教育の改善・充実の観点から、学位を与える課程に応じた教育内容・方法等の高度化・豊富化に資する特色ある優れた取組を選定し、選定された取組を広く社会に情報提供することや財政支援を行うことにより、大学教育の改善を図るとともに、高等教育の活性化を促進することが目的です。

採択された事業の概要等は以下のとおりです。

1. 取組主担当者 (代表者)

遠 藤 修 一 (滋賀大学教育学部・教授)

川 嶋 宗 継 (滋賀大学教育学部・教授)

2. 取組の概要

本学部では、地球環境の悪化が加速する中で、環境問題を身近な課題として捉え、環境教育、環境保全のリーダーとなりうる教員や社会人の育成に努めてきた。環境教育に関するカリキュラムは、全学生必修科目である「環境教育概論」など、教員のびわ湖や集水域の自然・文化・生活などに関する研究の蓄積に基づく講義科目と、びわ湖に直接触れる湖上体験学習からなる。特に、多様な環境問題が凝縮されているびわ湖をフィールドとして 50 年にわたって実施している湖上体験学習では、実感的体験と科学的な調査により、環境マインドと問題解決のための実践力の向上が見られた。本取組では 2006 年 3 月に新しい調査艇が建造されたのを期に、これまで選択科目

であった湖上体験学習を1年次生の必修科目である「環境教育概論」の中に取り入れる。これにより、環境問題が全学生にとってより身近なものとなるように湖上体験学習を核としたカリキュラムの体系化を図る。

3．取組の特性

理論から実感的体験へつなぐ

実感的体験から教育実践へつなぐ

さらなる環境教育のスペシャリストの育成につなぐ

体験学習を通して学生の人間的成長を促す

全学生の環境マインドを高めつつスペシャリストの育成を目指す。